

認定NPO法人e-Education

年次活動報告書



 e-Education

ANNUAL REPORT 2023

2023.04 - 2024.03



Mission

最高の教育を世界の果てまで

Best Education to Every Corner of the World

Vision

人生に誇りを、社会には思いやりを

A Life with Dignity, a Society with Compassion

代表メッセージ

~新しい当たり前と温故知新~

New Normal（ニュー・ノーマル）という言葉が、海外でもずいぶんと聞くようになりました。

新型コロナウイルス感染症の世界的拡大から約3年。日常が戻りつつある中、各所に爪痕は残っており、特に子どもたちの学びの遅れは途上国に共通する深刻な課題となりました。

私たちの活動国であるバングラデシュやネパールは世界でも学校の完全休校期間が長く、2年近く学校行けない子どもがおり、授業の内容をきちんと理解しないまま進学しているケースを各国で目の当たりにしました。

一方で、大きな変化も生まれています。バングラデシュでは学校へのICT普及が急激に進み、田舎の学校でも先生たちが授業中にプロジェクターを活用して私たちの撮影した動画を紹介していただく機会が一気に増えました。コロナ禍で無償公開した各国の映像授業は、YouTube上で年間150万以上も視聴され、「新しい当たり前」の到来を強く感じた1年でした。

しかし、新しい課題も同じように発生しています。ICTの使い方に慣れない先生たちは教育のデジタル化についていけず、かえって授業の質が落ちてしまうというケースも生まれるようになりました。

そこで私たちは、日本の「ICT支援員」という制度を各国の教育現場で活かすことができなにか考えました。ネパールの教育省や学校の先生たちを日本に招く研修機会を設け、ネパール版ICT支援員の仕組みを現地政府や自治体の皆さんと一緒に作る、新しい挑戦が始まっています。

他にも、コロナ禍にバングラデシュで生まれたオンライン家庭教師の仕組みがフィリピンへ広がるなど、これまで温かく積み上げてきたものを見つめ直し、新しいプロジェクトに活かしていくことが相次ぎ、点と点が線になるような感覚にあふれた1年にもなりました。

新しい当たり前と温故知新。大きく変化する社会において、それでも変わらないものに目を向けながら、ゼロから新しいことをはじめるのではなく、これまで積み上げてきた知識や経験を最大限活用して、これからも最高の教育を世界の果てまで届ける挑戦を続けていきます。

これからもぜひ応援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

認定NPO法人e-Education
代表 三輪 開人





バングラデシュ

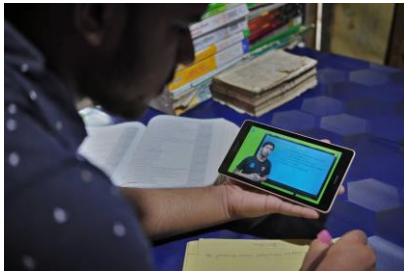
～初めての試み、受験お疲れ様会を開催～

コロナ禍を経て、ICT教育が学校現場にも普及してきた一方で、大学受験を控えながらも**学校にも塾にも通えない農村部の生徒と、高品質の教育にアクセスしやすい都市部の生徒との間**には変わらず大きな教育格差があります。ICTを活用できている都市部とそうでない農村部の差は更に広がっています。現在は、映像授業をオンラインで提供する形で支援を届け、この教育格差の是正に挑戦しています。

日々改善を進めながらバングラデシュ国内のより多くの地域・生徒に映像授業の支援を届けられるように取り組んでいます。その結果、支援地域は拡大しており、ほぼ全国の農村部の生徒に映像授業を届けることができるようになりました。また、本団体の支援を受けた受験生が大学生になった後は、雇用機会の創出として「オンライン家庭教師」の講師として雇用しています。そして、**受験生として支援を受ける側であった新大学生が、講師として後輩たち受験生の挑戦と一緒に応援しています。**

e-Education生徒の先輩として、母校を訪問し、生徒の勉強意欲を高める講演会も実施しています。支援の完全オンライン化に伴う体制強化によって、**157人の受験生に支援を届け、15名の大学生に就業機会を提供**することができました。結果、14年連続ダッカ大学と難関国公立大学に合格者を輩出することができました。

初めての試みとして、大学入試への受験勉強に挑んできた生徒たちと、生徒に伴走してきた大学生家庭教師たちを労うとともに、日本でご支援いただいている皆さまをお繋ぎする場をチャリティーイベントとして開催しました。**農村生まれの生徒たちが、都市での生活に不安とワクワクを持つ者同士でつながる場**でも、受験期間を支えてくれた大学生家庭教師に初めてオフラインで繋がれる場でもあり、生徒たちにとって支えとなる機会づくりを行いました。



映像教材で勉強する生徒



支援を受け家庭教師になった卒業生



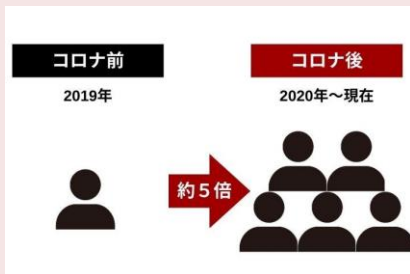
受験お疲れ様会で集まった生徒達

～クラウドファンディングを実施～

新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の流行と円安の影響により、**支援活動が縮小する危機に瀕する中、大学受験を控えた高校生たちをサポートするため、クラウドファンディングを実施**しました。

コロナ以降、**支援を必要とする子どもたちは約5倍**に増加。一方で、円安により一人あたりにかかる必要資金は約2倍となり、大学入試日程の延期に伴い**支援期間も7ヶ月に延長**、さらなる抛出増大が求められました。バングラデシュの特に貧しい農村部の高校生にとって、大学受験は自分だけでなく家族の人生をも大きく変える唯一のチャンスです。しかし、支援を必要とする子どもたちの増加と、円安などによる資金不足により、皆さまのお力なしには支援が困難な状況でした。

クラウドファンディングの結果は、**401名の支援者の方々から3,539,500円のご支援**をいただくことができました。いただいたご寄付は、2024年に行われる大学受験のサポートだけでなく、フィリピンやネパールでも同様に経済格差の困難に直面している子どもたちの支援にも充てさせていただきます。様々な形でこの想いを実現いただいた皆様に感謝申し上げます。





フィリピン



オンラインでのグループ授業を受ける生徒と講師達

～フィリピン初、オンライン家庭教師モデルを導入～

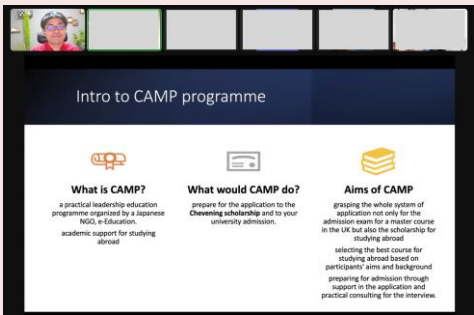
フィリピンでは厳しい外出制限が課され、中学校や高校は1年半にもわたり完全休校となっていました。2023年度は完全に対面授業が再開しました。しかし、コロナ期間に学校に通うことができず、自宅学習が中心となったため、生徒間の学力に大きな差が生まれてしまいました。

そんな中、バングラデシュのオンライン家庭教師をモデルに、**学校に満足に通えない生徒とコロナ渦でアルバイトができず学費が工面できない大学生をマッチングさせる**、「フィリピン版オンライン家庭教師」とオンライン学習支援を通じて、中学生への教育支援を行っています。

2023年度は30名に合計37回オンライン家庭教師の授業を届けることができました。中には最難関の国立高校への受験に挑戦した生徒もおり、**合計3名が第一志望合格を果たし、コロナや家庭の経済状況といった逆境に負けず、夢を叶えました**。また、高校受験支援を受けた元e-Education生徒の2名がフィリピン国内最高学府のフィリピン大学への合格を果たしました。



ミャンマー



現地パートナーとのオリエンテーションに参加する生徒達

～海外大学院進学支援プログラムを開始～

ミャンマーのクーデター後、国内の教育は二分化されました。昨年に引き続き、**政府主導の教育カリキュラムと、非政府主導の教育カリキュラムが存在し、高校卒業試験も2種類存在する**特殊な状況が続いています。私たちe-Educationは「誰一人取り残さない」ことに主眼を置き、あらゆる立場の生徒の可能性を高める教育支援を続けています。

ミャンマーの教育状況を調査し、高校卒業試験に加え、その他国際試験（GEDやIELTS等）についてプロジェクト実施の可能性を検討し、「生徒の未来の選択肢を増やす」という理念のもと、**国内外にいるミャンマーの若者に対して、オンラインで良質な学びを提供する体制を整え、海外大学院進学の教育支援を実施しました**。

海外大学院進学と進学に必要な奨学金獲得に向けて、合計で6名の生徒を支援。内、**1人の生徒がタイ国内の大学院へ合格と奨学金獲得を果たしました**。

※現地パートナーと生徒の安全確保のため、現地状況など詳細の記載は控えさせていただきますことご容赦ください。



ネパール



第2回カンファレンスでのグループワークの様子

～授業へのICT活用を導入支援する学校が拡大～

2023年度は、ネパールにおけるICTを活用した教育推進に向け、**学校現場だけではなく自治体との連携を本格的に開始**しました。日本のGIGAスクール構想を参考に、ネパール版「ICT支援員」（ICTファシリテーター）の配置を目指し、具体的な活動を特定しました。

一方で、事業開始時に設定した指標が、活動の進捗を測る上で課題として浮き彫りになりました。例えば、**生徒の学習習慣の評価において、質問内容の難易度や量など、アンケート調査設計の改善点が見つかりましたが、柔軟かつ迅速に対応することで、より効果的な事業の推進を目指しています**。

モデル自治体づくりのため、第2回訪日研修を実施し、**ネパール教育関係者5名が日本のGIGAスクール構想の導入・実施状況を視察**しました。さらに、モデル自治体の構築の重要性について、83名の教育関係者間で認識を共有する場として、ネパール国内にて第2回カンファレンスを開催しました。

新しい取り組み

~15か国目「日本」で活動を開始~

私たちは、今年から国内にいる越境児童（海外ルーツを持つ子どもたち）への教育支援活動を開始しました。キッカケは、「日本へ恩返ししたい」と話してくれたe-Educationの元生徒Aさん。

彼は日本企業への就職が決め、家族で移住してくれたものの、子どもが学校に馴染めず、孤立し、最終的にバングラデシュへ帰国することになりました。二度と同じことが起こらないよう2023年から調査を実施した結果、日本で越境児童の受け入れ体制が整っている自治体は全国の1割程度に留まることがわかりました。また、日本語のみならず算数でつまづく子どもが多く、コロナ禍で1年以上学校に通えなかった子どもたちに大きな学びの遅れが生じていることがわかりました。



虹の架け橋教室代表の山下さん（写真右）

このような課題を踏まえて、私たちはe-Educationの各国の仲間たちから母語を用いて、日本にいる越境児童に対してオンラインで算数を教えてもらう新しい挑戦を開始しました。みてね基金の皆さまから助成いただき、同分野で10年以上活躍されてきた虹の架け橋 菊川小笠教室の皆さまと一緒にトライアル事業を実施が決まりました。

~エストと連携した「探求のあかり基金」が始動~

2022年6月より、カウンセリング化粧品ブランドest（花王株式会社、以下エスト）と連携し、尽きない探求心と学びの心を応援する「探求のあかりプロジェクト」が始動しました。2023年度には「探求のあかり基金」をエストと協働で設立し、経済的な理由で学びを諦めてしまうバングラデシュとフィリピンの学生たちへ、大学の学費や生活費の一部を支援する取り組みを開始しました。

バングラデシュ・フィリピンでは、大学に入学したにもかかわらず、年間数万円の学費がまかなえず、学業を途中で諦めてしまう学生がいます。経済的な理由で学びのチャンスが奪われることのないよう、大学4年間の学費を継続的にサポートするために設立されました。

2023年は、7月度のエスト全商品の売上から総額300万円のご寄付をいただき、e-Educationが行うバングラデシュの農村部に住む高校生たちに対する大学受験支援や、コロナ禍で学校へ通うことができないフィリピンの子どもたちに向けた高校受験支援の活動に充てさせていただきました。また、「探求のあかり基金」ではバングラデシュから2名、フィリピンから2名の学生を奨学生として迎え、大学4年間の学費支援を開始しました。



エスト 探求のあかりプロジェクト紹介ムービー
<https://youtu.be/IVcJKvSL2Xk>

【エストについて】

エビデンスベースのプロダクトと、パーソナルなカウンセリングで肌と真摯に向き合い、ひとりひとりの中に眠る美の原石を惹き出し、ともに磨くカウンセリング化粧品ブランド。

est

True to you.

<https://www.sofina.co.jp/est/>

これまでにご支援・協働いただいている法人さま

※一部掲載



みてね 基金

est

True to you.

会計報告

e-Educationの活動は皆さまからのご寄付をはじめ助成金や事業収益によって実施できています。2023年度も温かいご支援をお寄せいただき、誠にありがとうございました。改めて御礼申し上げるとともに、1年間の収支についてご報告します。

本書では、決算の主な数字を集計したものです。国別や事業別など詳しい損益はホームページの決算資料（<https://eedu.jp/about/outline/index.html>）で公開しています。

※e-Educationでは外部の会計監査などを受け、厳格な財務管理を実施しています。

経常収益	
受取寄付金	49,772,577円
受取助成金等	9,434,000円
事業収益	26,639,401円
その他の収益	143,903円
合計	76,217,463円

経常費用	
事業費	69,120,246円
人件費	24,813,890円
その他経費	44,306,356円
管理費	23,458,433円
人件費	8,921,613円
その他経費	14,536,820円
合計	92,578,679円

税引前当期正味財産増減額

-6,588,798円

法人税、住民税及び事業税

70,000円

当期正味財産増減額

-6,658,798円

前期繰越正味財産額

-72,671,421円

次期繰越正味財産額

-79,330,219円

ご支援の方法

01 マンスリーサポーターになる

毎月3,000円のご寄付があれば、映像授業とオンライン家庭教師による教育支援を届けられます。学習環境に恵まれない子どもたちを応援する仲間になってください。



<https://sforce.co/4fSVNcD>

02 今回のみご寄付をする

ご都合の良い時に、ご自由な金額でご寄付いただけます。法人としてのご寄付もこちらからお申し込みいただけます。



<https://sforce.co/4dz14Ve>

※e-Educationへのご寄付は寄付控除の対象となります

〒101-0031

東京都千代田区東神田 1-2-8 赤塚ビル 2階

E-Mail : info@eedu.jp HP : <https://eedu.jp>